



平成 31 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T A T E R U  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 古 木 大 咲  
(コード番号：1435 東証第一部)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 C F O 経 営 管 理 本 部 長 高 杉 雄 介  
(TEL. 03-6447-0651)

(訂正)「通期連結業績予想と実績値との差異及び配当予想の修正並びに棚卸資産の評価損の計上に関するお知らせ」の一部訂正について

平成 30 年 11 月 12 日に公表いたしました「通期連結業績予想と実績値との差異及び配当予想の修正並びに棚卸資産の評価損の計上に関するお知らせ」の記載内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「平成 30 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値を一部訂正したため、実績値を訂正いたします。なお、訂正箇所については下線を付して表示しております。

2. 訂正の内容

【訂正前】

(1) 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想と実績値の差異

(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	72,238	3,060	2,909	3,389	39.98
実績値 (B)	79,149	721	507	<u>1,581</u>	<u>18.66</u>
増減額 (B-A)	6,911	△2,338	△2,401	<u>△1,807</u>	
増減率 (%)	9.6	△76.4	△82.5	<u>△53.3</u>	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 12 月期)	67,016	5,898	5,863	3,995	51.52

(注) 当社は平成 30 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の株式分割を行っておりますが、平成 29 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 業績予想の差異の理由

～省略～

その結果、売上高は 79,149 百万円（当初予算比 6,911 百万円増）と前回発表予想を上回る一方、営業利益は 721 百万円（同 2,338 百万円減）、経常利益は 507 百万円（同 2,401 百万円減）、親会社株式に帰属する当期純利益 1,581 百万円（同 1,807 百万円減）は下回る結果となりました。

3. 【訂正後】

(1) 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想と実績値の差異

(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	72,238	3,060	2,909	3,389	39.98
実績値 (B)	79,149	721	507	<u>821</u>	<u>9.70</u>
増減額 (B-A)	6,911	△2,338	△2,401	<u>△2,567</u>	
増減率 (%)	9.6	△76.4	△82.5	<u>△75.8</u>	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 12 月期)	67,016	5,898	5,863	3,995	51.52

(注) 当社は平成 30 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の株式分割を行っておりますが、平成 29 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益を算出しております。

(3) 業績予想の差異の理由

～省略～

その結果、売上高は 79,149 百万円（当初予算比 6,911 百万円増）と前回発表予想を上回る一方、営業利益は 721 百万円（同 2,338 百万円減）、経常利益は 507 百万円（同 2,401 百万円減）、親会社株式に帰属する当期純利益 821 百万円（同 2,567 百万円減）は下回る結果となりました。

以上